



「御家」内外の対立と解決から読み解く

初代政宗から廃藩置県までの290年！

シリーズ家からみる江戸大名 第6回配本

# 伊達家 — 仙台藩 —

御家騒動や飢饉など、度重なる困難に見舞われた仙台伊達家。一方、数々の試練は平和で近代的な社会システムの芽を育んだ。家臣や領民の「不服」の声を聴く統治や、家を支えた脇役にも光を当て、仙台伊達家の近世を描く。

J・F・モリス 著

(宮城学院女子大学名誉教授)



A5判・並製・カバー装・224頁  
定価 2420円 (税込)

978-4-642-06879-6

2023年  
11月初旬発売

吉川弘文館

プロローグ なぜ「家」の歴史が必要か

- 1 現代の家族と違う江戸時代の「家」
- 2 家の歴史として語る仙台伊達家の歴史

一 仙台藩以前の伊達家

- 1 伊達家の戦国時代  
伊達家のルーツ／伊達種宗、奥州守護職となるほか
- 2 戦国大名となる 十七代当主政宗  
政宗の家督相続／奥羽仕置がもたらしたもののほか
- 3 戦国大名伊達家の到達点  
家督権の優位と強固な結束／戦国大名としての限界
- 4 中世伊達家の自己認識  
伊達家の祖先はただれか／奥州藤原氏と自認するほか

二 伊達政宗、近世大名になる

- 1 政宗と豊臣政権  
新しい領国の確定／徳川家康に接近ほか
- 2 政宗が目指した伊達の家形  
正室実家の田村家と伊達家／伊達家は徳川家と結ぶほか
- 3 近世大名としての政宗と家臣団  
豊臣政権下の伊達家臣団／家臣の由緒の重みほか

三 二代忠宗 — 大改革の実行 —

- 1 二代忠宗の治政  
忠宗の襲封／奉行職制の制定／官僚制の整備ほか
- 2 給人の「私成敗」にみる  
政宗の治政と忠宗の治政の違い  
隠慶長十二年事件の顛末／政宗の政治の特徴ほか
- 3 忠宗とお世継ぎ  
正室の男子は夭折／側室は家督相続後ほか

四 伊達家の十七世紀後半と御家存続の危機

- 1 綱宗 三年で終わった三代目  
二代続いた大名の強制隠居／三代綱宗の一生ほか
- 2 幼君亀千代（綱村）と後見人政治  
綱村治世の概要／奉行の指導権争いほか
- 3 綱村親政  
綱村親政／綱村への期待／人材登用政策ほか

4 綱村政治の評価 名君か迷君か

- 5 綱村治世のキーワード「大國」  
評価が分かれる綱村／綱村は短慮／綱村の政治理想
- 6 綱村の隠居と政治勢力「二門仲間」の創出  
岳父の言葉／領知判物に朱印をすえるほか  
綱村の強制隠居／綱村の諫言奨励ほか

五 伊達家の十八世紀 — 御家安泰の時代 —

- 1 五代吉村 名君への長い道のり  
改革と継承／傍系からの入嗣／公卿の女性と結婚ほか
- 2 七代重村 飢饉、政変、そして女性の台頭  
重村の襲封と治政／打ち続く天災と人災ほか
- 3 八代斉村 早すぎた死と藩政改革の行方  
斉村の襲封／改革の継承から放棄へほか

六 伊達家の十九世紀 — 幼年大名と新しい社会の芽生え —

- 1 九代周村 祖母たちが御家をまもり、つなぐ  
家督相続の不安定／祖母観心院の働きほか
- 2 十二代斉邦 青年大名、改革に死す  
婿養子の中継ぎ襲封／打ち続く飢饉ほか

七 十三代慶邦 — 新時代の幕開けと仙台藩 —

- 1 慶邦治世の前期 藩政改革から社会改革へ  
慶邦襲封／慶邦の結婚／困難をきわめた継嗣確保ほか
  - 2 維新戦争と仙台伊達家「勤皇」「佐幕」を越えて  
文久三年 — 藩内自称尊攘派の排斥ほか
- 【ラム(合計6本)／参考文献／伊達家歴代当主一覧／  
(付表)仙台藩家臣序列／略年表／あとがき

【著者略歴】

J・F・モリス

一九五二年オーストラリアに生まれる／オーストラリア国立大学アジア研究学部卒業／一九八八年東北大学大学院文学研究科修了、文学博士（東北大学）／現在、宮城学院女子大学名誉教授、東北大学客員教授

【主要著書】

『近世日本知行制の研究』（清文堂出版、一九八八年）  
『仙台藩「留主居」役の世界』（蕃山房、二〇一五年）ほか

『伊達家—仙台藩—』を（ ）冊注文します

978-4-642-06879-6

お名前

ご住所 〒

TEL

注文書

●書店印